

南相馬市ふるさと元気応援団

★しんさいふっこうニュース★
めぐりあい



発行／NPO法人はらまちクラブ
理事長 江本 節子

〒975-0071

福島県南相馬市原町区深野字台畑 15-2

電話番号：090-8258-0840

アドレス：emoto88@ybb.ne.jp

第31号 平成31年3月1日

この情報誌は、NPO法人はらまちクラブ公式サイト (<http://npoharamachiclub.jp>) および南相馬市ふるさと元気応援団サイト (<http://genki.npoharamachiclub.jp>) よりダウンロードできます。

～平成30年度「心の復興」事業 元気モールを核とした心の復興プロジェクト事業～

今井正人 GO!東京



HC NPO法人はらまちクラブ

南相馬市今井正人応援団



東京五輪を目指し、3月3日 東京マラソンに出場します！
今井正人選手を応援するためのフォトです！応援よろしくお祈りします！

H31.2.12 現在
100枚 1,088名



東京2020オリンピック・パラリンピックの
マラソン競技で、今井正人選手が日本代表で表彰台での
姿を見たい！

あなたの応援が力になる

その心が必ず届く

今、みんなで応援しよう！

南相馬市今井正人応援団

伝統を引き継ぐ

～交流活動を通して～

南相馬市立八沢小学校 校長：高橋 恵子
 〒979-2304
 南相馬市鹿島区南屋形字北原32番地
 ☎0244-46-2535
 Fax0244-46-2548

本校の子どもたちは、素直で思いやりのある子がたくさんいます。下級生は上級生を慕い、上級生は下級生に優しく接しています。

本校には特設の金管クラブがあり、3学期は引継ぎの時期で、6年生がマンツーマンで下級生に教えます。丁寧で分かりやすく教えてくれるので、5年生以下の子どもたちは練習に一生懸命取り組み、日に日に上達しています。先輩が後輩に教え引き継ぐことは伝統になっています。



上級生から下級生へ

盛り上がったカルタ大会



また、本校では1月にカルタ大会を実施します。これも八沢小学校の伝統の一つです。1年から3年の下学年と、4年から6年の上学年に分かれて行います。子どもたちは1年生の時から百人一首に親しんでおり、上学年になるにつれて覚えた札が増え、大会では熱戦を繰り広げます。

様々な交流活動を通して、八沢小学校の子どもとしての繋がりを深め、みんなで楽しい時間を過ごすことよさを感じています。



一人一人が輝いて

南相馬市立太田小学校 校長：鈴木和一郎
 〒975-0053
 南相馬市原町区益田字塩釜236
 ☎0244-22-3822
 Fax0244-24-2087

現在、本校は東日本大震災以前の半分以下である全校児童49名の小規模校です。このメリットを最大限に生かし、本校ならではの教育活動を目指し、昨年度から重点目標に「一人一人が輝いて」というサブテーマを設けて教育活動を行っています。



3学期の始業式

学習では、きめ細やかな指導で「わかる・できる」授業を工夫しています。また、発表や挑戦する機会が多かったり、実験器具やパソコンなどが一人一台だったり、充実した教育環境もメリットです。生徒指導面でも、全教職員が全児童を見守り、すべての保護者や地域の方と協力し、いじめ0、不登校0に取り組んでいます。



理科の観察

1年～6年生の縦割り活動を増やすことで、大勢の前で発表する機会やたくさんの友だちにも恵まれます。保護者や地域の方が加わる運動会は、児童49名、観客400名以上です。

学校、家庭、地域から愛されている児童たちは、一人一人が元気に輝いています。



地域との交流



太田小・太田地区
合同運動会

より高い目標をもち、 ねばり強く努力する生徒 ～平成最後の笑顔満祭～

南相馬市立原町第三中学校 校長：熊澤 正人
〒975-0041
南相馬市原町区下太田字川内前12番地の2
☎0244-22-3802
FAX0244-24-2287

本校の教育目標は「自主・寛容・挑戦」、その目標に迫るために今年度の重点目標として「より高い目標をもち、ねばり強く努力する生徒」を掲げて教育活動に取り組んでいます。

今年度も学区内は着実に復興が進み、生徒数は79名、素直であいさつがしっかりできる三中生気質を受け継ぎ、文武両道に充実した中学校生活を送ることができました。



特に三中らしさという点では、地域美化活動や年二回行われる廃品回収が特徴的です。今回は熱中症予防のため道路のゴミ拾いはできませんでしたが、道路脇の花壇を整備して花一杯にしたり、全員が汗だくになって働きました。廃品回収でも保護者の先に立ってトラックに積み込む姿が見られました。

労をいとわず体を動かす自慢の生徒達です。

秋に行われた文化祭のテーマは「平成最後の笑顔満祭」、学習の成果やフリーパフォーマンスの発表など一人一人の笑顔が文字通りたくさん集まった行事となりました。



小高産業技術高等学校開校 ～スーパー・プロフェッショナル・ ハイスクールの取組～

福島県立小高産業技術高等学校 校長：鈴木 稔
〒979-2157
南相馬市小高区吉名字玉ノ木平78
☎0244-44-3141
Fax0244-44-6687

本校は本県で初めて文部科学省からスーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）校として指定を受けました。そして、工業と商業の両分野の幅広い見識を持ち、他者と協働しながら課題解決を見出し、地域復興に寄与する人材の育成に取り組んでいます。今年度も福島大学や会津大学、企業はソフトバンクドライブ等と連携し、外部講師による講義や講演会、事業所見学等、工業科と商業科を横断した学習活動等を実践し、専門的知識の習得や創造力の育成を図っています。

～これまでの主な取組～

○浮体式洋上ウィンドファーム見学（写真①）

丸紅、東京大学等からなるコンソーシアムが、経済産業省からの委託を受けて研究している施設。生徒達は、小名浜港から船舶で片道2時間程かけての見学でしたが、施設を間近に見ることでスケールの大きさを実感でき貴重な経験となりました。

○ヤフー石巻復興ベース及び被災地視察（写真②）

他県の被災地を訪問し復興の取組を学ぶことで見識を深め、地元の復興について様々な方策を考えることができました。



「リポーター」
ウォーキングサッカー初心者講習会
&
第1回ウォーキングサッカー全国交流会
in 福島Jヴィレッジ

11月20日(火)～21日(水)

主催 社団法人はらまちクラブ
福島県石川町新築
福島Jヴィレッジ
後援 (公財) 日本サッカー協会

「福島復興シンポジウム」
復興支援のシンポジウム
復興支援のシンポジウム
復興支援のシンポジウム

復興支援のシンポジウム
復興支援のシンポジウム
復興支援のシンポジウム

ウォーキングサッカー初心者講習会 &
第1回ウォーキングサッカー全国交流会 in 福島Jヴィレッジ

第1回開催 平成30年11月20日(火)～21日(水)
総勢150名 WS参加者112名(後援5名)

1部 (over50) 優勝 HC1組
2部 (under50) 優勝 HC5組

第1回ウォーキングサッカー全国交流会 in 福島Jヴィレッジ

「日本一の酒に酔う」めぐりあい懇親会
日本一の酒に酔うめぐりあい懇親会
日本一の酒に酔うめぐりあい懇親会

日本一の酒に酔うめぐりあい懇親会
日本一の酒に酔うめぐりあい懇親会
日本一の酒に酔うめぐりあい懇親会

「福島復興視察セミナー」
復興支援の視察セミナー
復興支援の視察セミナー

復興支援の視察セミナー
復興支援の視察セミナー
復興支援の視察セミナー

「福島復興視察セミナー」
復興支援の視察セミナー
復興支援の視察セミナー

復興支援の視察セミナー
復興支援の視察セミナー
復興支援の視察セミナー

NPO法人はらまちクラブでは、イベントやサークル活動、応援活動など様々なシーンでまちの元気を創出しております！皆さまも、参加してみませんか！お問合せ 090-8258-0840まで！

南相馬の子どもたちがテレビCMに出ています！

H30.9.30に、清水建設がスポンサーとなりみんなのスポーツ障がい者スポーツ体験会 in 福島を当法人が主催致しました。その折、その体験会の映像から「世界の果てまでイッテQ」番組スポンサー清水建設のテレビCMが製作され、当法人の子どもたちが出演しております。H31.1.6より放映開始され、現在も毎週、福島県を代表し子どもたちの笑顔がポッチャ競技と共に日本中に発信されています。どうぞご覧ください！



子どもたちに誇れる東京2020を。

アスリートだけでなく、多くの人にとって夢や目標になっている東京2020。
清水建設は、一人ひとりが夢に向かって輝き続ける
インクルーシブな社会の実現のために、施設建設・土木を通してサポートし続けていきます。



写真は、はらまちクラブの子ども達です！



清水建設は、東京2020パラリンピックを応援しています。

